

記入上の注意

【出願に際しての注意】

出願時は、それぞれの活動を証明するものとして、活動実績証明書（印）の原本、表彰状のコピー、新聞記事のコピー（発行紙、朝刊・夕刊の区別、発行日、掲載ページを活動実績報告書に記載すること）、プログラム等のコピーを提出すること。

<活動実績報告書【資格・面接型】>

1. 報告書に記載する活動実績は、下記 A.B.のいずれに該当するのを確認し、活動区分欄に「A.課外活動」「B.その他の活動」のいずれかを記入すること。なお、活動は「所属する組織・団体」または「参加した活動を主催する組織・団体」がその実績を証明できるものや、賞状や新聞記事等によってその実績を確認できるものに限る。
A. 高等学校の課外活動（部活動）
B. その他の活動 ※A とは関係なく個人または団体に応募したり参加したりした活動。
2. 新型コロナウイルス等の感染症拡大防止対策のために、中止・延期等となった大会や活動等に参加できず、その実績を記載できない場合は、その成果獲得に向けた努力のプロセス等について記入してもよい（活動を証明する書類の提出は必要ありません）。ただし、この努力のプロセス等のみを活動実績として出願することはできない。
3. 複数の活動実績があるなどの理由により 1 ページに収まらない場合は、複数ページにわたって構わない。ただし、最終ページには「以上」と記すこと。

<活動実績証明書【資格・面接型】>

1. 複数の組織・団体に活動した場合などには、組織・団体ごとに作成すること。
2. 管楽器コース「③ジュニアオーケストラに 2 年以上所属している者の在籍歴およびその活動」、及び弦楽器コース「② ジュニアオーケストラに 2 年以上所属している者の在籍歴およびその活動」で出願する場合は、指導者の氏名と経歴を明記すること。
3. 活動実績証明書を提出する場合は、本学指定の書式を使用すること。
4. 活動実績証明書の提出の要・不要については、活動実績ごとに下表を参考とすること。

ピアノ、クラシックギターコース	団体での実績	個人での実績
中学生以上のコンクールの入賞実績（全国大会の出場歴を含む。賞状等で証明できるものに限る。）	不要	

パイプオルガンコース	団体での実績	個人での実績
教会、学校礼拝オルガニスト、または経験者（1年以上経験している者に限る。）	要	

声楽、ミュージカル唱法コース	団体での実績	個人での実績
① 主要な独唱コンクール、アンサンブルコンテスト、合唱コンクールの入賞実績	要	不要
② 学校部活動または少年少女合唱団、市民合唱団の在籍歴およびその活動	要	
③ その他、個人およびアンサンブル、合唱などの分野において、能力を発揮した活動	要	要 ※賞状等により活動を証明できる場合は不要

管楽器コース	団体での実績	個人での実績
① 主要な吹奏楽コンクール・管弦楽コンクール・マーチングコンテスト高等学校の部、県大会金賞以上	要	
② 主要なソロ・アンサンブルコンテスト、コンクール入賞実績	要	不要
③ ジュニアオーケストラに2年以上所属している者の在籍歴およびその活動（プロが指導している団体に限る。）	要(*指導者プロフィールを含む)	

弦楽器コース	団体での実績	個人での実績
① 中学生以上のコンクールの入賞実績（全国大会の出場歴を含む。賞状等で証明できるものに限る。）	不要	
② ジュニアオーケストラに2年以上所属している者の在籍歴およびその活動（プロが指導している団体に限る。）	要(*指導者プロフィールを含む)	

指揮、ピアノ伴奏コース	団体での実績	個人での実績
① 学校部活動または学校行事においての活動	要	
② その他、個人およびアンサンブル、合唱などの分野において、能力を発揮した活動	要	要 ※賞状等により活動を証明できる場合は不要

作曲コース（※アレンジコースは除く）	団体での実績	個人での実績
① 中学生以上のコンクールの入賞実績（全国大会の出場歴を含む。賞状等で証明できるものに限る。）	不要	
② ヤマハジュニアオリジナルコンサート（JOC）でその作品が地区大会へ選出されていること（中学生以上。証明できる書類（コピー）を提出すること。）	不要	
提出物：ジュニアオリジナルコンサート及びコンクール作曲部門については出願時に選出を証明する資料と作品の音源または演奏動画を提出すること。		

（注）上表の「要」の内、活動実績証明書の提出ができない場合は、事前に入試広報部にご相談ください。